

## 意見書案第4号

### 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について

上記の議案を宗像市議会会議規則第14条第1項の規定により、次のとおり提出する。

令和元年9月27日

宗像市議会議長 花田 鷹人 様

提出者	宗像市議会議員	小林 栄二
賛成者	宗像市議会議員	末吉 孝
賛成者	宗像市議会議員	石松 和敏
賛成者	宗像市議会議員	福田 昭彦
賛成者	宗像市議会議員	伊達 正信
賛成者	宗像市議会議員	北崎 正則

#### 提案理由

大島地域の事業展開においては、「過疎地域自立促進特別措置法」に基づき策定した「宗像市過疎地域自立促進計画（大島地域）」に掲載することで、有利な財源である過疎対策事業債の充当が可能となっている。

しかしながら、この「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月に失効することから、それ以降財源を確保することができず、大島地域の振興のみならず道路や生活環境整備にも悪影響を及ぼしかねない。

よって、同様の財源確保が可能となるよう内容を網羅した、新たな過疎対策法の制定を強く要望するため、関係各機関に意見書を提出するもの。

#### 提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣

## 新たな過疎対策法の制定に関する意見書（案）

過疎対策については、昭和45年の「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、癒しの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対する総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化することが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

福岡県宗像市議会議長 花田 鷹人